

2017年度 国立音楽大学音楽研究所 活動概要
20世紀前半アメリカ音楽 研究部門 (ガーシュイン・プロジェクト)

【趣旨】

ジャズの台頭、録音・放送メディアや映画音楽の発達、消費的音楽文化の興隆といった条件がそろって出てくる 20世紀前半のアメリカは、音楽文化史上の重要な転換点であり、今日の音楽文化の基礎を作った、とても重要な存在です。しかしこの時代のアメリカ音楽は、必ずしも十分に調査・研究が行われているとは言えません。

本研究部門は、この時代の音楽文化を「現代のはじまり」として尊重し、その実態を把握するために文献・録音・映像等の資料や楽譜の調査を行うとともに、その成果を生かした演奏実践を行うことを目的として2015年度に開設されました。

初年度は、ガーシュインの名曲《ラプソディー・イン・ブルー》の初演時の姿を再現する試みを中心に活動し、2年目の昨年度は、「シンフォニック・ジャズ」と呼ばれる音楽を中心にすえながら、ミュージカルや映画音楽など、ひろく 20世紀アメリカ文化における音楽の諸相を研究しました。2017年度は、来年生誕100周年を迎える作曲家・指揮者レナード・バーンスタインの活動を振り返り、その全容を再認識するとともに、初期の劇音楽《ピーター・パン》の日本初演を行います。

【主な活動内容】

- ・研究成果は、おもに論文や書籍などの形で公表します。
- ・研究成果の公表の一環として、公開講座や演奏会を行います。
- ・公開講座は、次の3つのシリーズで行います(詳細は別項参照)。
 - 講座 1「バーンスタインを知ろう」(講義形式)
 - 講座 2「バーンスタインを歌って踊ろう」(歌とダンスのワークショップ)
 - 講座 3「バーンスタインを観よう」(映像鑑賞)
- ・演奏会は次の通りです。
「国立音楽大学音楽研究所 20世紀前半アメリカ音楽研究部門コンサート
《生誕100周年記念:若きバーンスタインの魅力》」
 - ・2018年1月21日(日)15:00～ 講堂大ホール
 - ・曲目(予定)
 - L.バーンスタイン 劇音楽《ピーター・パン》全曲(日本初演)
 - L.バーンスタイン 《オン・ザ・タウン》より序曲、3つのダンス・エピソード
 - ・演奏 工藤俊幸(指揮)クニタチ・フィルハーモニック、本島阿佐子(歌)、久保田真澄(歌) ほか

【2017年度音楽研究所スタッフ】

主任所員	吉成 順	(国立音大教授)
所員	栗山和樹	(国立音大教授)
	林 千代	(国立音大教授)
	本島阿佐子	(国立音大准教授)
客員所員	山内のり子	(国立音大講師)
	池原 舞	(早稲田大学助教)
	谷口昭弘	(フェリス女学院大学准教授)
研究員	川辺 茜	(国立音大博士課程修了)
	中村有里	(国立音大修士課程修了)
	渡辺菜月	(国立音大修士課程修了)
助手	大山未方	(国立音大修士課程修了)

■講座1「バーンスタインを知ろう」

来年生誕100周年を迎える作曲家・指揮者レナード・バーンスタイン(Leonard Bernstein, 1918-1990)について、その活動の全容を振り返ります。前期最後には初期の室内楽を中心とした演奏会、全講座修了後の2018年1月21日(日)には、劇音楽《ピーター・パン》の日本初演を含む演奏会を行います。

【開催日時】 年間14回。原則として隔週金曜の午後6時～7時半。

【予定】(期日・内容・担当者は変更になる場合があります。)

【前期】

第1回	4月21日	はじめに:バーンスタインの α と ω	(吉成)
第2回	5月12日	指揮者バーンスタイン(1) 概論	(吉成)
第3回	5月26日	教育者バーンスタイン(1) TV、若手育成音楽祭	(池原)
第4回	6月9日	作曲家バーンスタイン(1) 交響曲	(谷口)
第5回	6月23日	作曲家バーンスタイン(2) 作曲技法	(栗山)
第6回	7月7日	指揮者バーンスタイン(2) 60年代まで	(吉成)
第7回	7月21日	作曲家バーンスタイン(3) 室内楽(演奏会)	(未定)

【後期】

第1回	9月15日	指揮者バーンスタイン(3) 70年代以降	(吉成)
第2回	9月29日	作曲家バーンスタイン(4) 宗教音楽	(谷口)
第3回	10月13日	指揮者バーンスタイン(4) 古典と現代	(吉成)
第4回	10月27日	作曲家バーンスタイン(5) 劇音楽《ピーター・パン》	(吉成)
第5回	11月17日	作曲家バーンスタイン(6) 舞台作品	(松岡)
第6回	12月1日	教育者バーンスタイン(2) 思想、講演	(池原)
第7回	12月15日	おわりに:アメリカ音楽史の中のバーンスタイン	(谷口)

【会場】 国立音楽大学6号館(AVセンター)113スタジオ。

【参加資格】

音楽大学卒業または同程度の理解力を有するもの。なお、国立音楽大学大学院の学生には「プロジェクト」という科目の授業として扱われます(通年2単位)。

【受講料】 国立音楽大学大学院の学生は無料、それ以外は年間4万円。

【定員】 30名程度

■講座2「バーンスタインを歌って踊ろう」

20世紀アメリカを代表する作曲家バーンスタインの曲を対象とした、歌とダンスのための連続型ワークショップです。劇音楽《ピーター・パン》およびミュージカル《オン・ザ・タウン》の曲を中心に練習し、1月21日の演奏会に出演することを目標とします。

【開催日時】 年間28回。原則として毎週金曜の午後6時～7時半。

【前期】

- (1) 4/14、(2) 4/21、(3) 4/28、(4) 5/12、(5) 5/19、(6) 5/26、(7) 6/2、
(8) 6/9、(9) 6/16、(10) 6/23、(11) 6/30、(12) 7/7、(13) 7/14、(14) 7/21

【後期】

- (1) 9/8、(2) 9/15、(3) 9/22、(4) 9/29、(5) 10/6、(6) 10/13、(7) 10/20、
(8) 10/27、(9) 11/10、(10) 11/17、(11) 11/24、(12) 12/1、(13) 12/8、(14) 12/15

【会場】 国立音楽大学6号館(教育センター)201教室。

【参加資格】 音楽大学の学生またはそれと同等の読譜力、歌唱力を有するもの。

必要に応じてオーディションをする場合があります。

大学院生の参加は可能ですが、この講座は大学院の授業としては扱いません。

この講座の外部受講生の方は、「講座1」を無料で受講することができます(当該日の「講座2」は欠席となります)。

【受講料】 国立音楽大学の学生・大学院生は無料(実費のみ)、それ以外は年間4万円。

【定員】 最大15名程度まで(希望者多数の場合初回に選抜を行います)。

■講座3「バーンスタインを観よう」

20世紀アメリカを代表する作曲家・指揮者バーンスタインは数々の映像を残しました。その中から、テレビにおける音楽番組の先駆「ヤング・ピープルズ・コンサート」を中心に、ドキュメンタリーや歴史的な演奏記録などを交えて鑑賞します。

【開催日時】 年間 20 回。原則として火曜または木曜の午後4時 20 分～5時50分(終了時間は変動する場合があります)。

【予定】(期日・内容は変更になる場合があります。)

【前期】

第1回	4月11日(火)	音楽のおくりもの(メモリアル・ストーリー Gift of Music)
第2回	4月20日(木)	ヤング・ピープルズ・コンサート. 1, 音楽ってなに?
第3回	5月9日(火)	ヤング・ピープルズ・コンサート. 10, メロディーってなに?
第4回	5月18日(木)	ヤング・ピープルズ・コンサート. 13, 音楽の原子
第5回	5月30日(火)	ヤング・ピープルズ・コンサート. 4, 交響楽はどのように作られる?
第6回	6月8日(木)	ヤング・ピープルズ・コンサート. 14, 旋法ってなに?
第7回	6月20日(火)	ヤング・ピープルズ・コンサート. 6, 音楽の中のユーモア
第8回	6月29日(木)	ヤング・ピープルズ・コンサート. 2, アメリカ音楽ってなに?
第9回	7月11日(火)	ヤング・ピープルズ・コンサート. 18, ラテン・アメリカの精神
第10回	7月20日(木)	ヤング・ピープルズ・コンサート. 19, コンサート・ホールの中のジャズ

【後期】

第1回	9月12日(火)	答のない質問 1 音楽的音韻論
第2回	9月21日(木)	答のない質問 2 音楽的統語論
第3回	10月3日(火)	答のない質問 3 音楽的意味論
第4回	10月12日(木)	答のない質問 4 曖昧さの喜びと危険
第5回	10月24日(火)	答のない質問 5 20世紀の危機
第6回	11月9日(木)	答のない質問 6 大地の詩
第7回	11月21日(火)	ウェスト・サイド・ストーリー - メイキング・オブ・レコーディング
第8回	11月30日(木)	第九交響曲 自由への頌歌
第9回	12月12日(火)	若者たちとバーンスタイン ～「春の祭典」リハーサル
第10回	12月21日(木)	バーンスタイン 最後のメッセージ

【会場】 国立音楽大学図書館グループ視聴室(4号館4階 AV-A)

【参加資格】 本学の学生、教職員、音楽研究所の講座(講座1・講座2)受講生。

【受講料】 無料。

【定員】 30名程度。事前の申込は不要です。

出願先

(本学学生の場合)

受講希望の講座番号、氏名、(本学学生は学籍番号も)を明記して kcm.kenkyujo@gmail.com にメールでお知らせください。

(外部の方の場合)

受講希望の講座番号、氏名、連絡先(住所・電話番号・メールアドレス)、所属、年齢、最終学歴を明記して kcm.kenkyujo@gmail.com にメールでお知らせください。

出願書類の請求方法(下記の1, 2のどちらでも可能です)

1. 送料120円の切手を同封の上、郵便で音楽研究所事務室に請求する。
2. 国立音楽大学のホームページより、書類をダウンロードする。
<http://www.kunitachi.ac.jp/>

※出願書類は講座初回に提出してください。

外部受講生ガイダンス

- <講座1> 日時:2017年4月21日(金)午後6時(受付:午後5時50分より)
場所:国立音楽大学6号館(AVセンター)113スタジオ
- <講座2> 日時:2017年4月14日(金)午後6時(受付:午後5時50分より)
場所:国立音楽大学6号館(教育センター)201教室

研究会の趣旨ならびに諸注意を説明します。万が一出席できない場合は、事前にお知らせください。

受講決定への通知と必要書類の送付

ガイダンス後、メールまたは郵便で通知します。

受講料の支払い手続

2017年4月24日(月)から5月9日(火)の受講料納入期間に、指定の銀行に受講料を振り込んでください。なお、納入期間内に入金されなかった場合には、履修生としての資格を放棄したものとします。

受講料

受講料 40,000円(年額)

受講証明書の発行について

出席回数が各講座全体の3分の2(今年度の場合は10回)以上の受講者には、年度末に受講証明書を発行します。

問い合わせ先

国立音楽大学大学改革推進室
TEL:042-535-9511
E-mail: kcm.kenkyujo@gmail.com